

学校給食応援団だより



みんなは学校給食に使われている野菜や果物を作っている人が、どんな人たちが知っていますか？
みんなが食べている給食のために野菜や果物を育てて運んでくれている学校給食応援団のみなさんを紹介しします。

学校給食応援団は、佐久・臼田・浅科・望月に4つあって、100人近くの団員のみなさんが活動しています。

給食を食べるときには学校給食応援団のみなさんの食材が使われているのかなと少し意識して食べてみてください。

4つの学校給食応援団のマネージャーのみなさんです！



佐久学校給食応援団
榎澤 孝子 さん



臼田学校給食応援団
楠本 健介 さん



浅科学校給食応援団
佐藤 敏行 さん



望月学校給食応援団
竹花 健司 さん

今回は夏野菜を育てている団員の皆様から一言いただきました！



伊藤 智 さん・千香 さん (佐久)

猛暑や台風など、計画通りにいかないことも多いですが、毎日勉強し、美味しい野菜を作りたいです。



牡丹 淳志 さん (臼田)

キュウリに限らず、野菜の栽培の大変さを、感じていただけたら、幸いです。



廣川 修司 さん (浅科)

根っこが喜ぶ柔らかい土を作ったので、元気に育ったミニトマトが美味しい実を沢山つけてくれました。皆さんもよい食事をとって運動して感謝の気持ちを忘れず元気に育ててください。



鈴木 健之助 さん・里子 さん (望月)

夏の猛暑や雨不足にも負けず大きく育てくれたズッキーニ、みずみずしくてジューシーです！美味しく食べてもらえたら嬉しいです！

給食は様々な人の思いが詰まって作られています！

～応援団員の川妻さんが働く佐久市有機農業研究協議会の畑で野菜を育てたよ！の巻～

臼田小学校3年生が総合の授業で、じゃがいも、大根、かぶを育てて、野菜について学んだよ！

収穫したじゃがいもを全校の児童にふるまって、みんなに喜んでもらったよ！

種いもの植付け(4月25日)



じゃがいもの収穫(9月5日)



じゃがいも

植付けする前に川妻さんから、じゃがいもは種いものから育てていくことについて教えてもらいました。種いもを包丁でカットした後に、植付けの作業を行いました。9月には大きく育ったじゃがいもが収穫できました！

大根とかぶ

去年は種まきの時期が遅かったので、収穫のときに大根とかぶが小さめでした。野菜を育てる難しさを身をもって体験することで、農家や食べ物に対する感謝の気持ちを体験前より、持つことができるようになりました！

大根とかぶの種まき(9月21日)



大根とかぶの収穫(12月7日)



収穫したじゃがいもをいもちにして全校児童にふるまいました！



～農作業体験やいもちをふるまった感想～
いもち作りは大量のじゃがいもをつぶすのが大変でした。崩さないようにひっくり返す作業や味付けがむずかしかったです。全校のみなさんがおいしいと喜んでくれたのでうれしかったです。

応援団員の川妻さんから一言！

畑にまかれた野菜の種は、土の中で水分と温度を感じてゆっくりと芽と根を伸ばしていきます。野菜たちは生きる力を持っています。食べものを育てる農業と田畑の土についても学習してください。

★ ★ ★ 学校給食の思い出 ★ ★ ★



井出 廣己 団長

(浅科学校給食応援団)

昔々の思い出です。小学校の入学は終戦後間もない時期でしたので、学校にはお弁当をもって通いました。我が家は農家だったので、そこそこ米はありました。俗にいうご飯の中に梅干が真ん中に一つ入っている日の丸弁当でした。高学年になってから学校給食が始まったように記憶しています。定番はコッペパンと味噌汁、具はじゃが芋とねぎ。それに牛乳と称して脱脂粉乳が出ました。脱脂粉乳は乏しいたんぱく質の補給としてうまくなかったですが、一生懸命飲みました。たまにコッペパンの揚げパンと魚のフライなどが給食に出ると皆が歓声を上げて喜んでいてくれたことを思い出します。